

資料2-1

項目	工事区分		A工事	B工事	C工事	備考
	負担区分	設計施工	福岡市交通局	店舗	店舗	
		財産帰属	福岡市交通局	福岡市交通局	店舗	
建築	1	床	(既存) ・コンクリート素地	・なし	・新設床に係る全工事	・防水処理の工程種別はゴムアスファルト系塗膜防水のY-2とする(公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)「ゴムアスファルト系塗膜防水(屋内防水用)」参照) ・排水管路用のシンダーはつり部も防水すること
	2	壁	(既存) ・ケイ酸カルシウム板張り ・コンクリート ・コンクリートブロック	・なし	・新設壁に係る全工事	・区画壁は一時間耐火の壁を躯体まで立ち上げること
	3	天井	(既設) ・コンクリート	・なし	・新設天井(下地共)仕上げにかかる全工事(防火シャッター用点検口設置含む)	・他設備の維持管理に必要な点検口を設置すること。
	4	金属製建具	・なし	・なし	・新設建具に係る全工事	・開口部へは特定防火設備を設置すること
	5	その他	・なし	・なし	・既存との取り合いに係る全工事	・店舗の仕様等については、交通局と協議の上、承諾を得ること ・店舗内禁煙とする

※注意事項

- ・店舗内の壁及び天井は、下地材及び仕上げとも不燃材料としてください。
- ・床材料については、できる限り燃えにくい材料を使用してください。
- ・店舗内の什器等は、努めて不燃性のものを使用してください。
- ・カーテン、絨毯等は、防災物品を使用してください。防災表示を必ず取り付けてください。
- ・開口部へ防火シャッターを設置し、開店中、常時開放する場合は地下鉄利用者の通行を妨げないよう必要に応じて柵を設けてください。



店舗工事区分表(区画番号5 博多駅博多口1)

資料2-3

項目			工事区分		備考
			A工事	B工事	
負担区分			福岡市交通局	店舗	備考
設計施工			福岡市交通局	店舗	
財産帰属			福岡市交通局	福岡市交通局	備考
防災	1	排煙設備	・なし	・なし	・排煙設備全工事(防災関係の試験調整を含む) ・排煙ダクトの店舗内区画貫通部に排煙ダンパー(HFD)を設置 ・所轄消防署との協議の上、必要に応じて排煙設備を設けること ・機械排煙の場合は、既存排煙ダクトに接続し排煙口、手動開放装置等の設置
	2	スプリンクラー設備	・なし	・なし	・スプリンクラー設備全工事 ・既設スプリンクラー主管から分岐し、店舗内及び店舗区画開口部外前面に有効に警戒できるように設置 ・指定業者あり ・既設からの分岐で店舗内SPヘッドの放水量を確保できない場合は、分岐箇所を交通局と協議のうえ決定すること ・所管消防署へ着工届及び設置届を作成し提出すること ・既設流用可能
	3	自火報防災盤設備	・なし	・煙感知器又は熱感知器設置 ・駅防災盤の改修、試験調整	・自火報防災盤設備全工事 ・排煙口及び手動開放装置への結線試験 ・火報ベル設置 ・防災設備業者メーカー指定有り ・間仕切り等の変更の有無に関わらず、駅防災盤表示名称とデータの変更必要有り ・防災関係の試験調整及び消防検査対応含む ・既存流用可能
	4	非常用照明	・なし	・なし	・非常用照明全工事 ・非常時に2lx以上の照度を確保できるよう設置すること ・非常時点灯時間は連続30分間以上とすること
	5	誘導灯	・なし	・なし	・誘導灯、誘導標識全工事 ・非常時点灯時間は連続20分間以上とすること
	6	非常放送	・なし	・法定基準に応じ設置 ・店舗内に単独の音響装置を設置する場合は、カットリレーの設置及びカットリレー用配管配線工事(放送端子盤～店舗内)を行うこと。 ・なし	・指定業者あり ・施工時確認試験・消防検査時は、交通局指定業者にて実施すること ・天井内の配管配線はPF管とする ・既存流用可能
<p>※注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗内には消火器を設置してください。</li> <li>・店舗内にBGM等に利用する音響設備を設ける場合は、既設非常放送装置と連動して音響装置の電源を自動的に制御するカットリレーの設置を行ってください。</li> <li>・防災設備については、交通局と協議のうえ消防署への届け出等を行い、適切に設置してください。</li> <li>・消防検査は、店内全ての工事が終了してから受検するように店舗工事スケジュールを調整してください。</li> </ul>					

## 資料2-4

項目			工事区分		A工事	B工事	C工事	備考
			負担区分	設計施工				
財産帰属			福岡市交通局		福岡市交通局	福岡市交通局	店舗	
電気	1	天井照明	・なし		・なし		・照明設備全工事	
	2	コンセント	・なし		・なし		・コンセント設備全工事	
	3	幹線・分電盤(動力・電灯)	(既設) ・幹線ケーブル(3相3線440V 76kVA)		・なし		・変圧設備及び、分電盤を含む全工事	・設置する変圧設備が20kWを超える場合は福岡市火災予防条例第11条の規定によること ・店舗区画内に設置すること
	4	電力量計	・なし		・なし		・電力量計の設置(検定付き)	・電力量計は、変圧設備の一次側に設置すること ・店舗区画内に設置すること ・毎月報告義務があるため、店舗従業員が目視しやすい位置に設置すること。
	5	電話・情報配線設備	・なし		・なし		・電話・情報配線設備全工事 (開通手続き含む)	・天井内の配線用配管で防火区画貫通部以外はPF管とする ・既設光回線使用不可
	6	テレビ共同受信設備	・なし		・なし		・テレビ共同受信設備全工事	・天井内の配線用配管で防火区画貫通部以外はPF管とする

※注意事項

- ・店舗の防火区画にかかるものにおいては法令に準じた工法で防火区画の貫通処理を行ってください。
- ・必要に応じて事業者が変圧設備を設ける等改修を行い、分電盤から電力負荷へ電源供給を行ってください。
- ・使用する材料については、安全が担保された製品を使用し、漏電に対する保護を行ってください。ケーブルはエコケーブル、変圧器はモールドタイプを使用してください。ただし、やむを得ない場合は交通局の指示に従ってください。